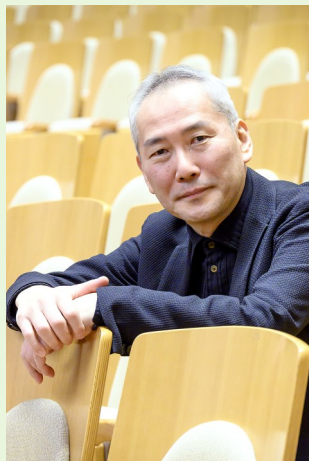


# 林光「生命の木、空へ」を公募合唱団で歌うコンサート

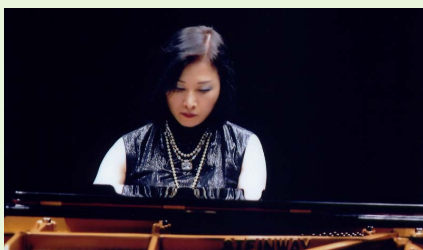
## 寺嶋 陸也

## 演奏者のご紹介



1964年生まれ。東京藝術大学音楽学部作曲科卒、同大学院修了。オペラシアターこんにやく座での活動や、1997年東京都現代美術館でのポンピドー・コレクション展開催記念サティ連続コンサート「伝統の変装」、2003年パリ日本文化会館における作品個展「東洋・西洋の音楽の交流」などは高く評価され、2006年にはタンフルウッド音楽祭に招かれボストン交響楽団のメンバーと自作を含む室内楽を演奏した。作曲、ピアノ演奏、指揮など、活動は多方面にわたる。オペラ『あん』『グスコブドリの伝記』『ヒト・マル』『ガリレイの生涯』『末摘花』、合唱オペラ『そして旅に出た』、合唱劇『星の王子さま』、『尺八・二十絃箏と管弦楽のための協奏曲』、合唱のための『詩篇第49番』『沖縄のスケッチ』、オーボエ・三味線と打楽器のための『異郷の景色』、古代復元楽器のための『大陸・半島・島』など作品多数。  
 「大陸・半島・島/寺嶋陸也作品集」(ALCD9026)、「二月から十一月への愛のうた(栗山文昭の芸術2/寺嶋陸也作品集)」(VICS61092)「寺嶋陸也 plays 林光」(NARD5034)「寺嶋陸也ピアノリサイタル〜シューベルト3大ソナタを弾く〜」(NARC2129〜30)など、多くのCDがある。  
 お茶の水女子大学文教育学部、桐朋学園大学非常勤講師。  
 ホームページ <http://www.gregorio.jp/terashima/>

## 志村 泉



東京芸術大学附属音楽高等学校、同音楽学部、同大学院を卒業。松原緑、伊達純、M・ムンツの諸氏に師事。大学院在学中にクロイツァー賞受賞。卒業後、オペラ小劇場「こんにやく座」の活動に参加するなど、ピアニストとしては異色のスタートを切る。1979年に行ったソリストとしてのデビュー・リサイタル以来、林光の作品を多く初演するなど、バロックから現代までの幅広い作品を演奏している。1988年には「ピアニストとしての優れた現代音楽演奏」に対して、「中島健蔵賞」を受賞。毎年全国各地でリサイタルを行うほか、海外での演奏も多い。チェコのヴァイオリニスト、インジフ・パズデラ氏とのデュオ、またナチスによって命を奪われたユダヤ人作曲家、ウルマンやクラインがチェコ・テレジーネの強制収容所の中で作曲した作品の演奏でも注目される。2006年より地元でのコンサート活動として「武蔵野シリーズ」も続けている。2008年3月にはニューヨークのカーネギー・ザンケルホールにて一柳慧作品を3曲演奏し、聴衆に大きな感動を与えた。2022年7月より日ロ音楽家協会運営委員長を務める。独自の視点を持った活動が高く評価されている。  
 ホームページ <https://izumi-shimura.com/>

## 西岡茂樹・「生命の木、空へ」2026合唱団・豊中少年少女合唱団・佐々木有紀(練習ピアノ)



**西岡茂樹** 1955年兵庫県生まれ。合唱指揮を田中信昭、須賀敬一の両氏に師事。大阪の老舗合唱団である「豊中混声合唱団」、その姉妹団体の「豊中少年少女合唱団」、「豊中ユース合唱団」のファミリーを核として、女声合唱団あい(山口県周南市)、女声合唱団Stella(兵庫県三田市)、などにおいて指揮者を務める。「未来へつなぐ合唱の会」代表・音楽監督。指揮活動の最大の関心は、『世界に誇ることができる日本固有の合唱芸術の創造』にあり、主として現代日本の創作家の意欲的な作品を、委嘱初演を含めて取り上げ続けている。寺嶋陸也氏との協働も多い。現在、関西合唱連盟理事、大阪府合唱連盟副理事長、21世紀の合唱を考える会「音楽樹」会員、奈良産業大学名誉教授。 ホームページ <https://www.shigekinishioka.com/>

**「生命の木、空へ」2026合唱団** 公募により大阪音楽教育の会、東京音楽教育の会など全国各地の有志や、豊中混声合唱団、大阪フィルハーモニー合唱団などの合唱団団員ら約100人で構成。西岡茂樹の合唱指揮、佐々木有紀の練習ピアノにより2026年1月から定期練習を重ねて、その大合唱によりオーケストラ版「生命の木、空へ」大阪初演の成功をめざしている。

**豊中少年少女合唱団** 大阪府豊中市を拠点に活動する児童合唱団。「子どもだからこそ、歌い手と聴き手の双方の心を豊かにする“本物の第一級の合唱作品”を歌おう」を合い言葉に、2001年2月に結成。豊中混声合唱団との共演や、高い技術力がなくても歌える深く豊かな音楽性に満ちた曲の委嘱を数多く行っている。団員は、小学1年生から高校3年生までの約40名。 ホームページ <https://www.toyonakabgc.com/>

**佐々木有紀** 7歳よりピアノを始め、11歳でオーケストラとピアノ協奏曲を共演。相愛高校音楽科、同大学音楽学部ピアノ専攻を首席卒業後、桐朋学園大学院大学修士課程を修了。国内外多数のマスタークラスに参加。多くのリサイタルを開くほか、室内楽やコーラスの伴奏、オーケストラの鍵盤楽器奏者など幅広く取り組む。在阪オーケストラのメンバー他、ニューヨークフィルメンバーなどのリサイタルピアニストを多数務め国内外の演奏家と共演。2021年には京都芸術大学子ども芸術学科特別講義の講師を務めるなど後進の指導もおこなっている。 ホームページ <https://yukisasaki-pf.com/>



## 大阪フィルハーモニー交響楽団

1947年朝比奈隆を中心に「関西交響楽団」という名称で創立、1960年改称。創立から2001年までの55年間朝比奈隆が音楽総監督・常任指揮者を務め、大阪フィルは個性と魅力溢れるオーケストラとして親しまれてきた。大植英次音楽監督時代には「星空コンサート」「大阪クラシック」といった大型プロジェクトで注目を集め、2014~2016シーズンは井上道義を首席指揮者に迎え、「ショスタコーヴィチ/交響曲第4番」「交響曲第7番」「交響曲第11番」の録音が相次いでリリースされる等、高い評価を得た。2018年4月、尾高忠明が音楽監督に就任。現在、フェスティバルホール(大阪・中之島)を中心に全国各地で演奏活動を展開している。2017年度文化庁芸術祭・優秀賞受賞。2017・2018年度関西音楽クリティック・クラブ賞本賞、大阪文化祭賞を二年連続で受賞。2027年、創立80周年を迎える。 ホームページ <https://www.osaka-phil.com/>

